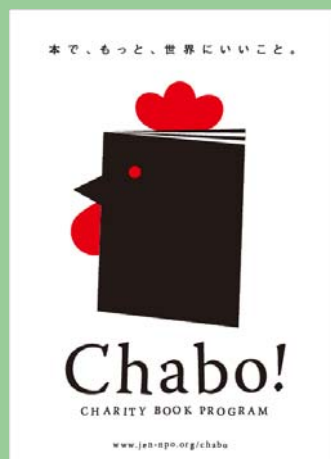


長時間労働からの脱出を考える

2008年6月

経済評論家・ムギ畑主宰
勝間和代



目次



1. 自己紹介・ムギ畑
2. 少子化と長時間労働の関係
3. ムギ畑から見た、女性の働き方の現状
4. 企業の課題:生産性の向上
5. 行政の課題:公的サービス予算の拡充
6. 私たちの時間・お金の使い方が社会を変える
7. まとめ

1. 自己紹介・ムギ畑



- 現在は経済評論家・公認会計士として、独立して活動
- 独立以前は証券アナリスト、経営コンサルタント、公認会計士など、子育てしながらフルタイムで勤務
- 子どもは娘3人(高3、中3、小4)、子どもと4人暮らし
- ムギ畑で女性の多様な働き方を1997年から応援
- 2005年に、ウォール・ストリート・ジャーナルから「世界で注目したい50人の女性」に選出
- 2006年に、最年少でエイボン女性大賞を受賞
- 近著に「効率が10倍アップする新・知的生産術」「お金は銀行に預けるな」「猪口さん、なぜ少子化が問題なのですか？」など

主な著書



2007/4発売
累計15万部

忙しいビジネスパーソンでも無理なく続けられる勉強方法を提案



2007/11発売
累計35万部

金融初心者に向けて、自衛のための資産運用を指南



2007/12発売
累計25万部

ITを活用した、具体的な生産性の向上策の原理とアイデアをまとめる



2008/3発売
累計15万部

年収600万円以上、素敵なパートナー、年を取るほど素敵、というインディを提案



2008/6発売
初版6万部

ビジネスに向けたフレームワークの作り方・使い方を7つの力で説明

ムギ畑(<http://www.mugi.com/>)



[English]

カ ジ ュ アル
家 政 婦 Cleaty Service

・お掃除中心の家事代行サービス
・新しいライフスタイルを提案します



あなたは 3980401 人目

最新会員数 4318 名

お問い合わせ

Copyright (C) 1997 - mugibatake of www.mugi.com. All Rights Reserved.

What's ムギ畑

入会を
希望される方は
すぐ登録したい人はこちら

会員ページへ
ID/PWをお忘れの方はこちら



ムギ畑が編集しました

ムギ畑は、明るく働き続けることを目指すワーキングマザーおよびその予備軍のための、無料会員制のインターネットサイトです。

ムギ畑からのお知らせ

10月14日、10月28日、11月11日の土曜日に、ムギ畑が企画に携わった「女性と仕事の未来館」のイベントが東京港区で開催されます。11月11日はムギ及び会員のライブセッションもありますので、ぜひ、ご参加ください。

2月18日土曜日の朝日新聞朝刊別刷り「be」のフロントランナーとして、「働く母親が知恵を情報共有し、支え合う」という記事で、約全面2面を使ってムギ畑が紹介されました。

1月14日土曜日に、「ムギ畑に種をまく3000人の女たち」人がつくるムギ畑 あんな人、こんな人」をテーマにしたムギ畑カンファレンスを大手町サンケイプラザで開催し、大盛況のうちに終わりました。協賛いただいた日本アイ・ビー・エム、J.P.モルガン証券に感謝の意を表します。

米経済誌、ウォール・ストリート・ジャーナルが選んだ「The 50 Women to Watch 2005」(世界で2005年に注目したい150人の女性)の1人として、ムギ畑の創設を評価され、ムギが選ばれました。



◆今月の画廊◆
『春はそこまで』
(C)ムギ畑

WMとその家族のための
■ サバイバルガイド

サーチ:

キーワード:

amazon.co.jp

ムギ畑に広告、宣伝、マーケティングのご利用を検討される企業の皆様へ



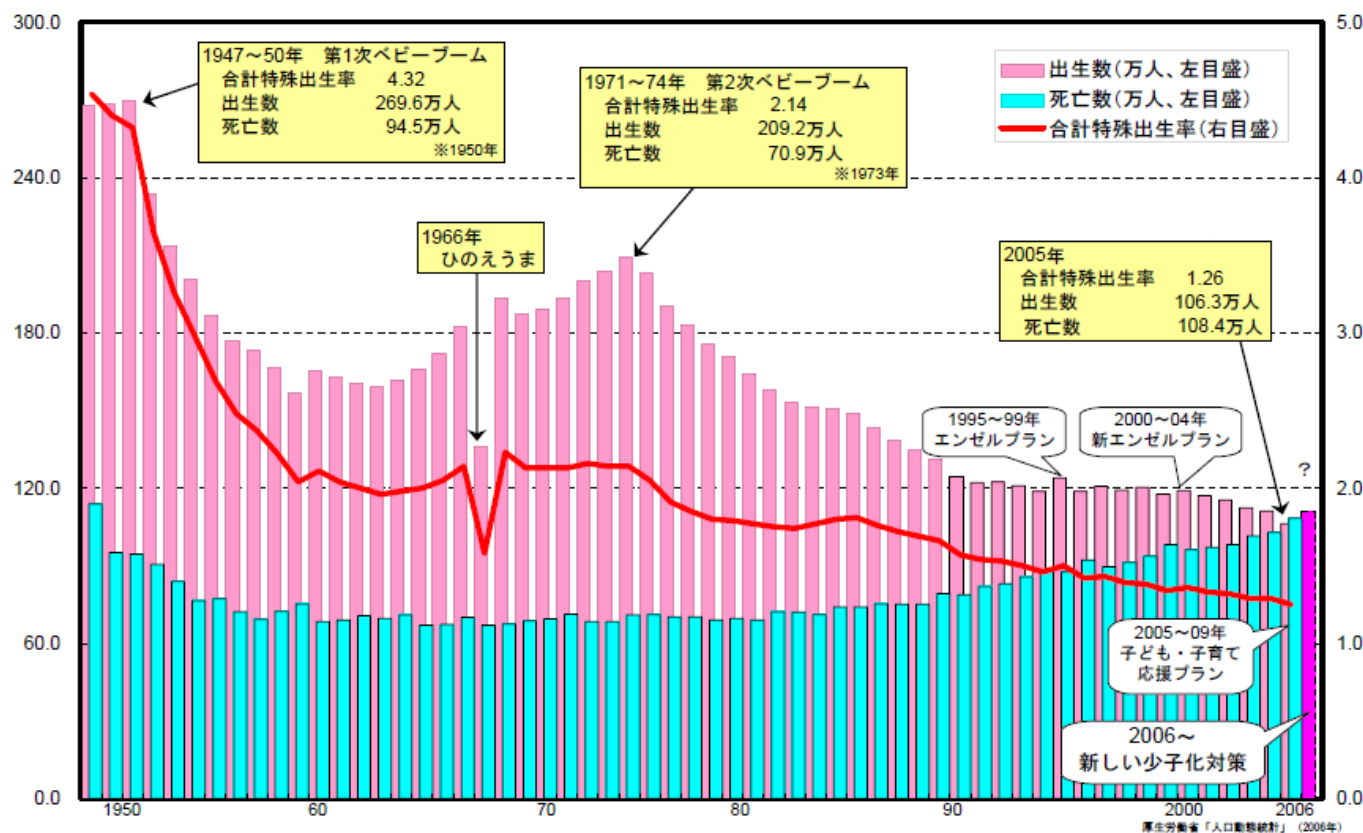
ムギ畑の概要

- 1997年10月に設立された、インターネット上のコミュニティ
- ワーキングマザーおよびその予備軍4,500名が会員となっている
- 「ムギ畑が目指すもの」という行動規範をもとに、互いに知恵を共有して、支え合うことを目的としている
- 会員料金は無料、運営は会員の中から募ったボランティア約40名で管理
- これまでの働く女性の集まりの中でも特に、フルタイムの正社員、専門職が多いのが特徴(均等法以後世代)
- テーマ別の会議室でのQ&A、地域ごとオフ会、年に数回行われる大規模な旅行などが活動
- 書籍の出版、メディアへの意見提出なども活動として行っている
- 「ムギ畑は、日本で初めて、『惨めさとは縁遠いワーキングマザーの集団』であり、衝撃を受けた」(女性・ジェンダー問題研究者談)

2. 少子化と長時間労働の関係 ～出生数と死亡数の推移



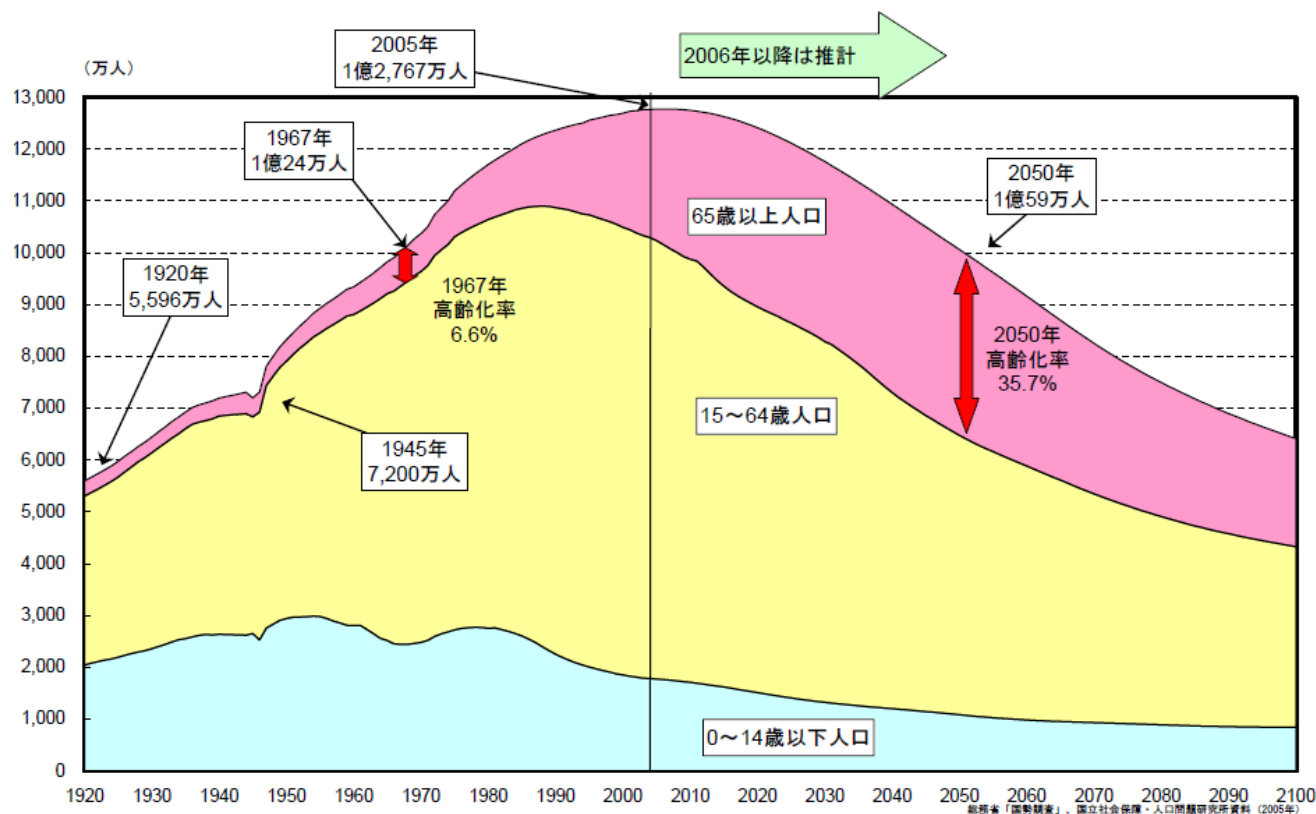
- 出生数と死亡数は逆転している



人口予想と高齢者比率



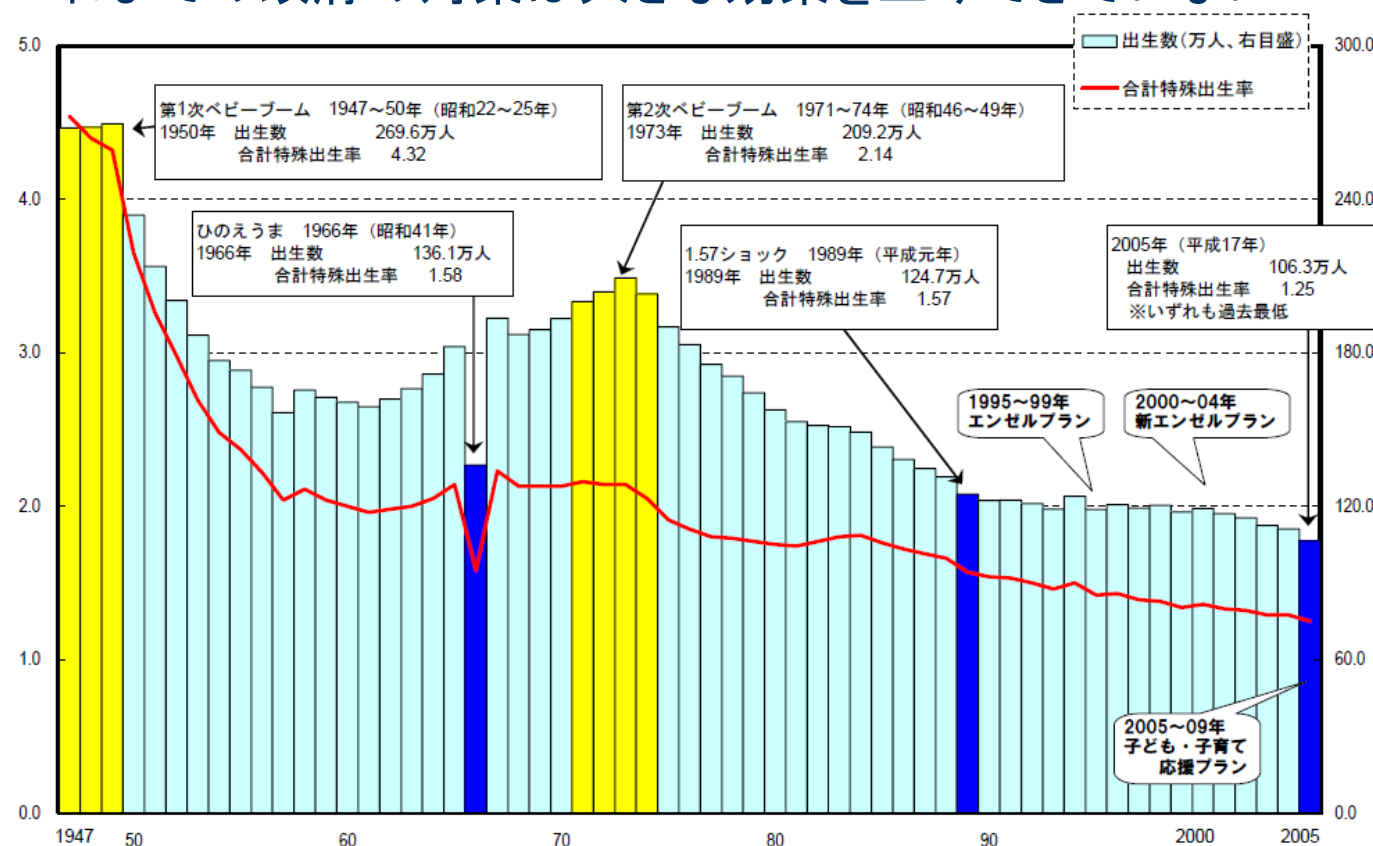
- 単に人口が減るだけではなく、構成が変わることも課題である



合計特殊出生率の推移



- これまでの政府の対策は大きな効果を上げてきていない



経済学から見た、少子化が進行した理由



- 子どもを持つことの親にとっての効用が下がっているため
- 子どもを持つことの便益は下がっている
 - 消費効用→・・・愛玩効果は基本的には不変
 - 所得効用↓・・・若年労働の必要性の低下
 - 年金効用↓・・・社会基盤整備により減少
- 一方、コストは上昇している
 - 住居・教育コストの上昇
 - 働く母親が増えることによる機会費用の上昇
- 晩婚化、ライフスタイルの多様化は効用変化の結果であり、原因ではない

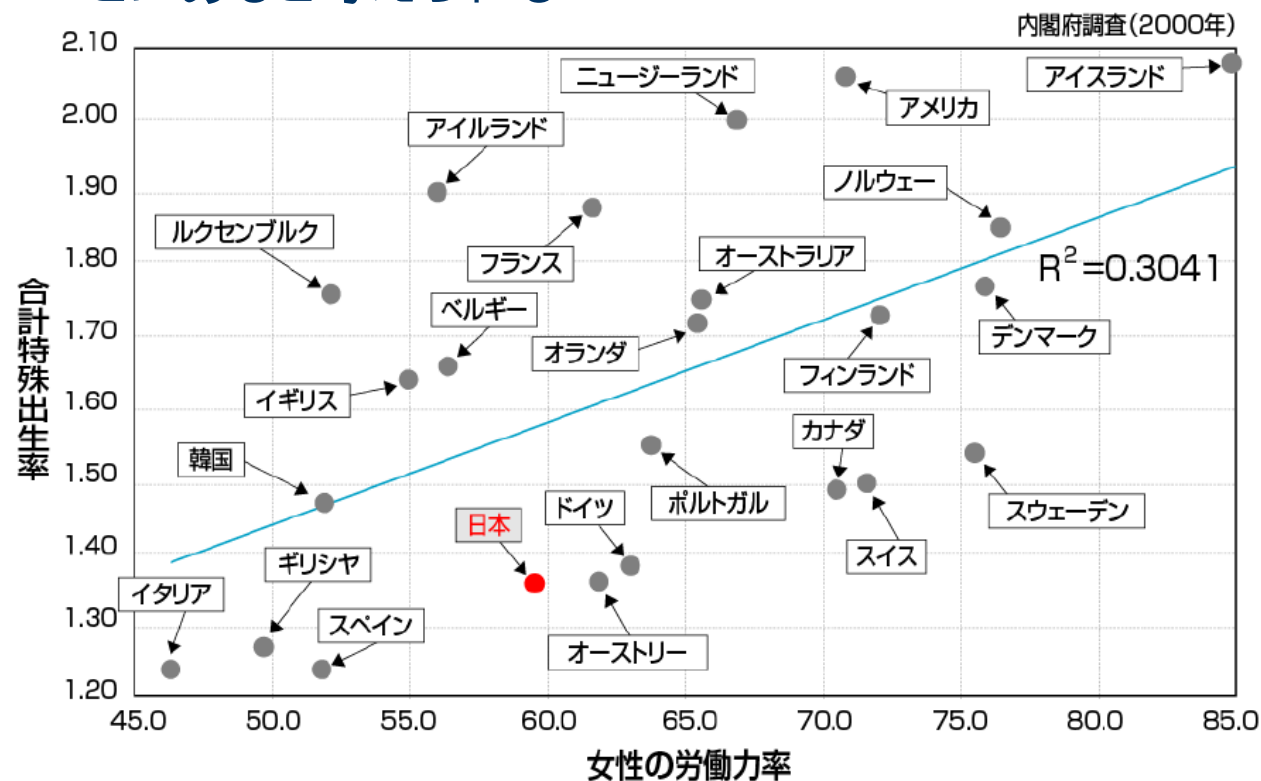
少子高齢化とサブプライム問題の関係

- 家計での資金需要が減退する
 - 資金需要超過の若年層が減り、資金がある老年層が増える
- 企業の資金需要が減退する
 - $GDP = 1 \text{人あたりGDP} \times \text{人口}$
 - 人口が減るということは、企業も設備投資ができなくなることを意味する
- 無理に資金需要を増やそうとする
 - 必要以上のリスクを金融機関が取る
 - サブプライムローン破綻の遠因に

解の方向性①-働く女性向けの社会基盤の整備



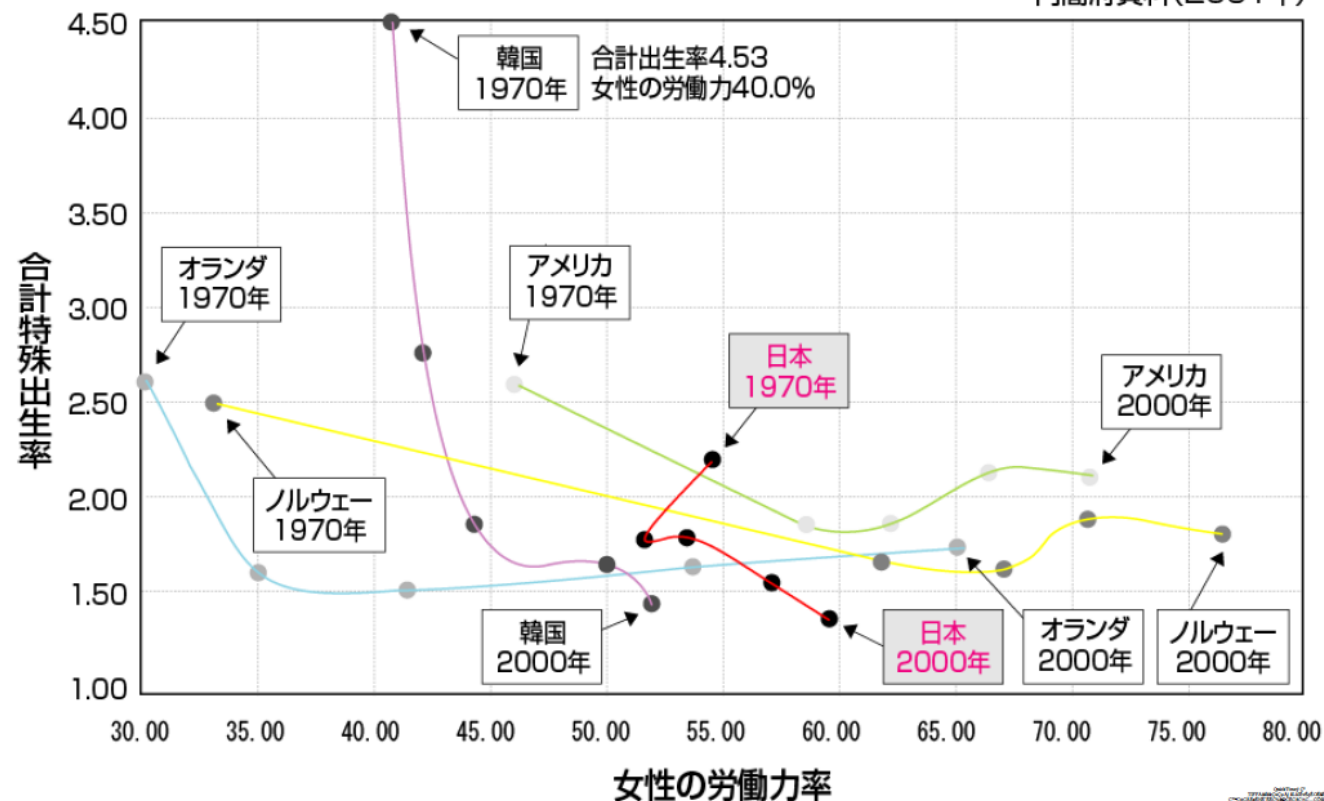
- 日本の少子化の一つの要因は、働く女性向けの社会基盤が整っていないことにあると考えられる



出生率が回復した国としていない国の違い



- 働く女性が多数派になった国の出生率は回復傾向にある
内閣府資料(2001年)

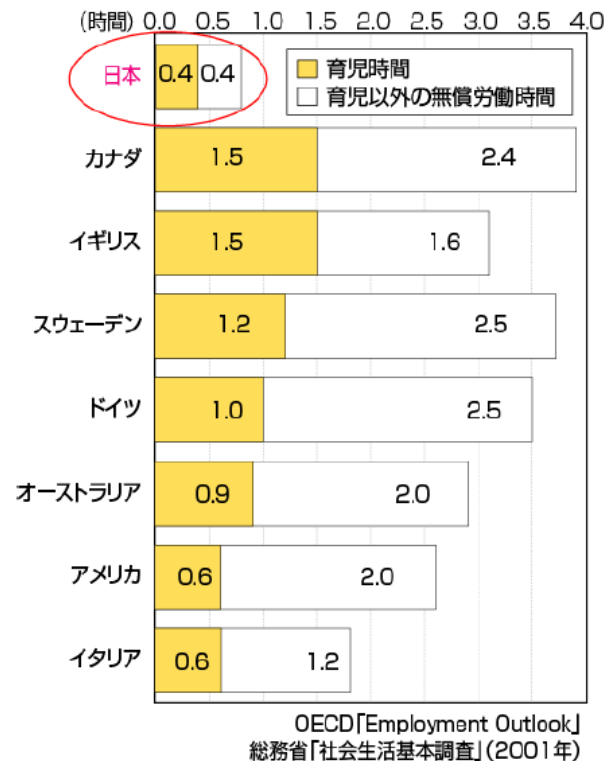


解の方向性②-男性配偶者の育児への積極参加

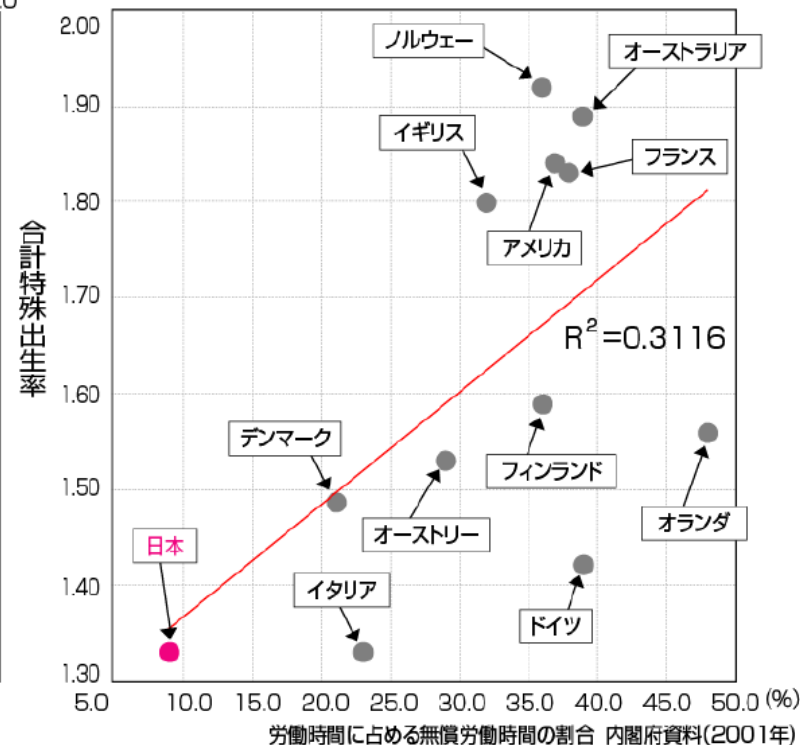


- 日本人男性が家事・育児に参加できていないことも少子化の要因

5歳未満児のいる家庭の夫の育児・家事時間



男性配偶者の家事・育児時間と出生率



3. ムギ畑から見た、女性の働き方の現状



- 働く女性は初心者の段階では、先輩から知恵を共有してもらうことで、仕事と育児・家事を両立する道を探ることに重点がおかれる
 - 働きやすい職場、住環境などの共有
 - 保育園・学童への入所方法
 - 子連れ出張や短時間勤務など、具体的なケース・スタディ
- しかし、初心者を超えると、「働く女性である自分たちの自助努力だけではなく、いかに、周りにも理解してもらうか」という部分が課題になる
 - 働く女性側の自助努力だけでは限界がある
 - 働き過ぎ、うつ病や夫婦不和、離婚などか30代半ばを越すと増加してくる
 - 未だに、両立できているのは一部の大企業や外資であるケースが多い
 - 同様に、「ワーキング・マザー」だけトキのように珍重しないで欲しい
- 「恵まれた一部の人」ではなく、「働きたいと思っている人はすべて」働ける環境になることを望んでいる

ワーク・ライフ・バランスを支えるサービス



- ムギ畑では、サービスについても、会員相互の経験・知恵の共有が行われている
 - 保育園への入所情報。「〇年保育園戦線、かく戦いき」ツリーなど
 - 民間ベビーシッターサービスやファミリーサポートなどについても共有
 - 家事や育児の細かいノウハウへの共有も盛ん
- 家事の効率化は常に話題
 - ワーキングマザー三種の神器としての「自動皿洗い機」「ガス乾燥機」「24時間風呂」
 - 生協や野菜宅配などの食材通販や家事サービスの活用も多い
- 重要なのは、家族の協力と企業の理解
 - 家族のアウトソースへの抵抗は少くない ←三歳児神話
 - 夫・実家の父母、夫の父母との関係の作り方、協力のしかたが鍵
 - 職場とのコミュニケーション、制度利用にも工夫が必要

ワーク・ライフ・バランスをめぐる企業の取組と現実



- ムギ畑で、企業での働きやすさを中心に、「4,000人に聞きました、ハッピー・ワーキングマザーBOOK」をアンケートに基づいて編纂
 - － 「働きやすい職場」は業種よりも、規模で決まっていた。従業員数の多い会社ほど、働きやすさを感じている
 - － 大企業は制度はあるが、運用がまちまち。中小企業では制度そのものもないケースが多い。ただ、どちらも、「退職勧告」「パートへの転換」「配置転換」などは日常的に行われている
- 企業の意識や取り組みには、まだばらつきが大きい
 - － 日経新聞最新調査では、育児と仕事の両立支援はプラス93%
 - － 本音では、やはり、優先順位が低いところもある
 - － 人事評価で強制されている企業は、外資以外では、まだまれ
- マジックナンバー”30%”に向けた取り組み
 - － 新入社員の比率は近づきつつある
 - － 管理職の比率が今後の課題

女性比率が高い会社は業績が高いという研究の例



女性の活用は、業績アップの大きな潜在機会となっている

- 一橋大学助教授、川口大司「女性従業員比率と企業の収益:企業活動本調査を用いた分析」
- 東京大学教授、玄田有史『働く過剰』(NTT出版)
- Judith H Hellerstein, David Neumark and Kenneth R. Troske, “Market Forces and Sex Discrimination”
- 樋口美雄ほか『少子化と日本の経済社会』(日本評論社)

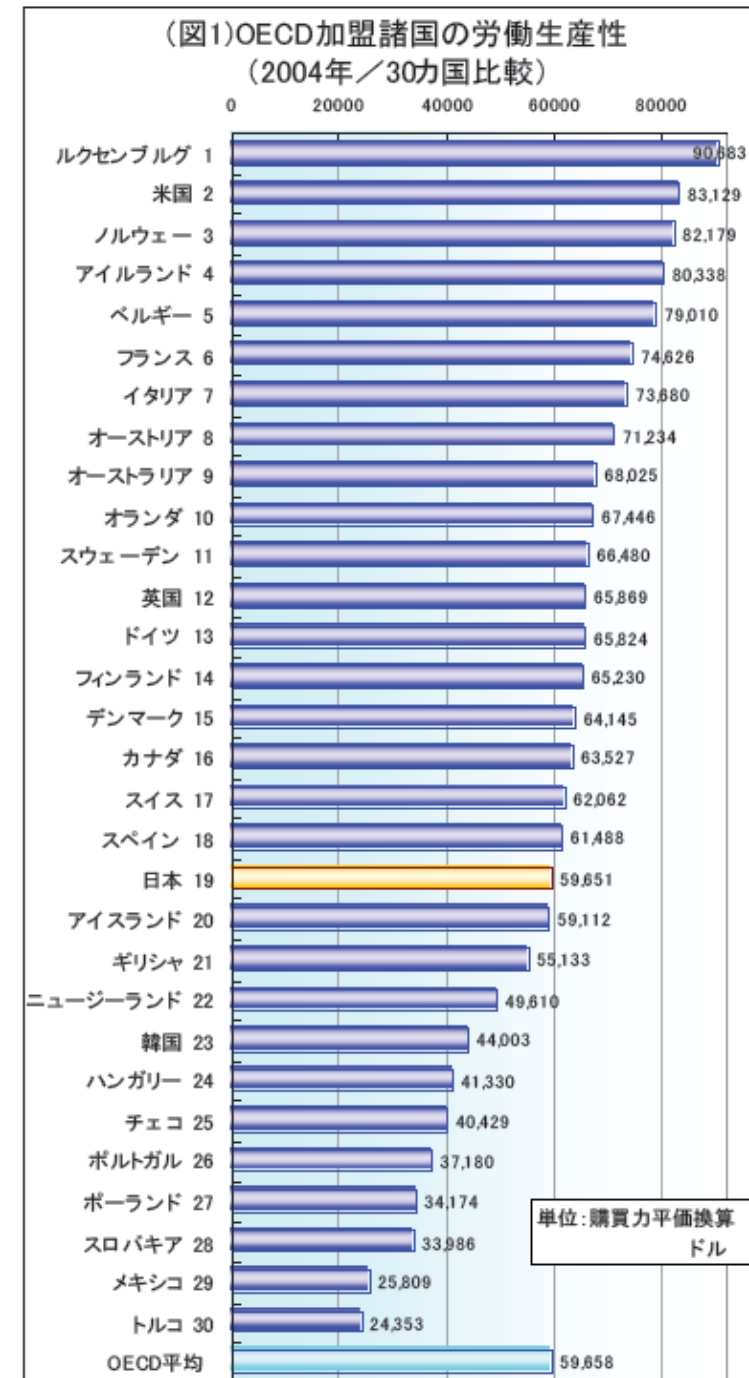
4. 企業の課題:生産性の向上



- ワークライフバランスへの最大の課題は、「時間不足」「時間的弱者」「時間貧乏」
 - 1日24時間しかないのに、仕事・家事・育児・地域貢献など、「やらなければならないこと」が盛りだくさん
 - 結局、「どれも中途半端」になることがジレンマ
- 女性を無理に優遇するのではなく、職場全体が早く帰れるようにならないといけない
 - 正社員だと、他の人たちは残業をしていて、定時に帰ると肩身が狭い気になる
 - パートや契約社員だと、キャリアアップが難しくなる
- 時間という貴重なリソースをもっと有効に活用にする

日本の労働生産性は主要先進7カ国中、11年連続最低

- 労働生産性が低い国は、同じ付加価値を出すためには、長時間労働になる
- 結果、7-11のような働き方が当たり前になり、若い男女が結婚のためのデートや、結婚後の出産・育児時間がなくなり、少子化が進んでいる



日本企業の生産性が低い理由

1. 余剰労働力の解雇が困難なため、儲けを度外視した仕事を続けざるを得なかった
2. 他国に比べ、従業員の少ない中小企業の割合が高く、ITなど規模の経済が働かなかった
3. 「日本語」という物理的な参入障壁があった
4. ROIへのハードルレートが低いため、国内の過当競争が解消されなかった

→でもいまは？

勝間式「万能利益の方程式」

- 利益=(顧客単価－顧客獲得コスト－顧客原価)×顧客数
- 発売後の意外な反応
 - － 20代、30代の非管理職ほど「当たり前」
 - － 40代、50代の管理職、経営者ほど「このような本が欲しかった」「部下に買って読ませた」
- 利益の方程式を買って社員に配った社長例
 - － リッツカルトン日本支社長 高野登氏
 - － 「ほぼ日」糸井重里氏

「生産性の高い社会」のコツを13文字でまとめると…

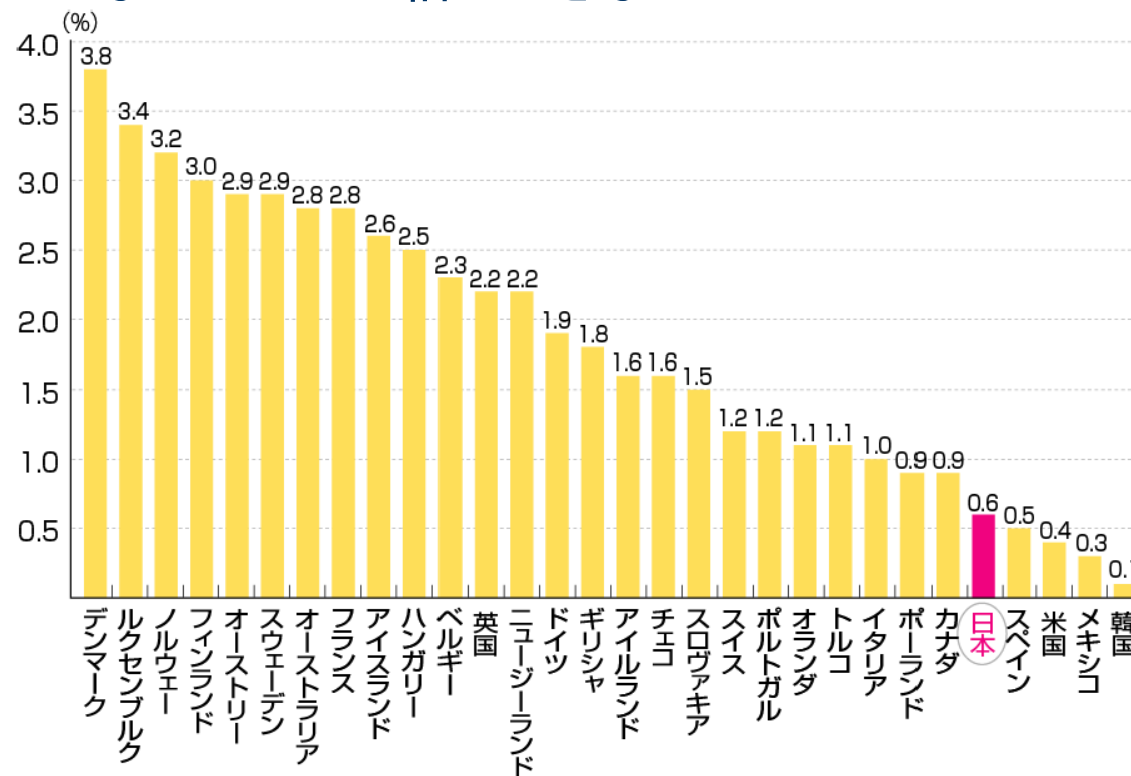
1. 浪費しない
2. 投資を惜しまない

出所: 404 Blog Not Found:10倍どころじゃない –
書評 - 効率が10倍アップする 新・知的生産術

5.行政の課題:公的サービスの 予算の拡充



- 日本の家族施策対GDP支出予算規模はイギリス・フランスの1/4程度しかない→せめて倍にできないか？



市民が声を上げることが大事



- 両親が働きながらも、無理なく育児できるよう、予算を拡充し、公的サービスを充実させることを期待
 - 保育園の地域格差の解消
 - 学童クラブの充実・予算増加
 - 小学校・中学校の公的教育の向上(中学受験が当たり前、という風潮への疑問)
- 同時に、子育て期の母親には、専業主婦であっても、全家庭支援を行っていく
 - 専業主婦の子育てに対する強い負担感を和らげる
- 育児手当金倍増など、明るいニュースはあり、加速するべく、市民が声を上げていくことが必要

6. 私たちの時間・お金の使い方が社会を変える

忙しさと金融リテラシーの関係

- 労働収入に頼るから忙しい
- 忙しいので、金融収入のことを勉強する暇や、考える暇がない
- ますます、労働収入に頼らざるを得なくなり、忙しくなる
- そんな中、低金利で預けたお金は生産性が悪い分野に投下され、そこで働く労働者もますます忙しくなる

→適切なリターンを求めることはWLBを整える鍵

金融商品別の視点

- これまでの3大金融商品は人口増加時代に適したものだつた
 - － 長期の銀行ローン+持ち家による不動産投資
 - － 旺盛な企業貸し出しに対応した定期預金
 - － 早死にリスクをカバーするための生命保険
- 現在はカバーしなければならないリスクが変わってきている
 - － 人口減で値上がらない不動産
 - － 倍になるのに100年以上かかる預金
 - － 長生きにより不足する年金

投資の5原則

第1原則 分散投資、分散投資、分散投資

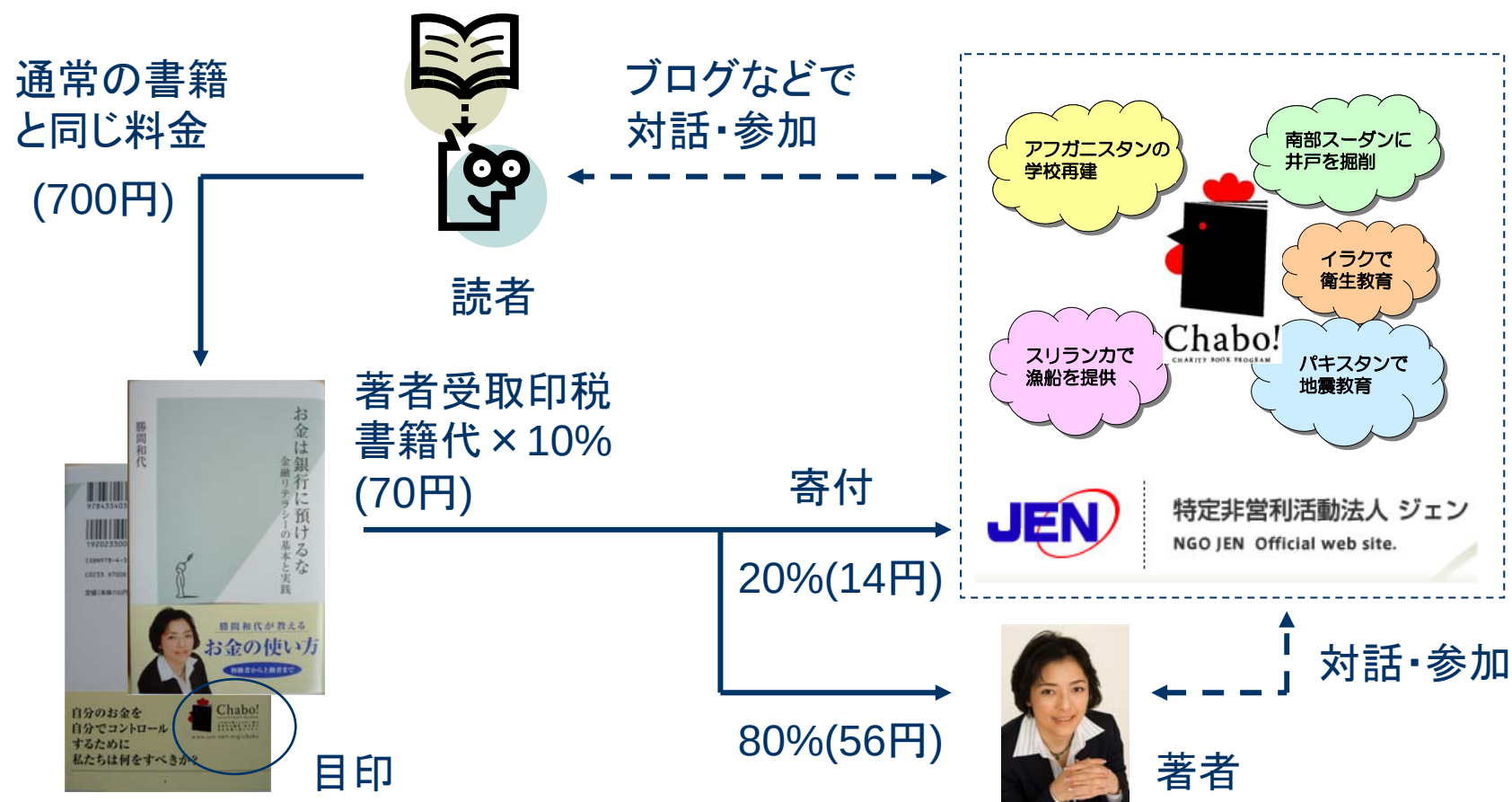
第2原則 年間リターンの目安として、10%はものすごく高い、5%で上出来

第3原則 タダ飯はない

第4原則 投資にはコストと時間が必要

第5原則 管理できるのはリスクのみ、リターンは管理できない

社会的責任支出の事例: 「本で、もっと、世界にいいこと」 Chabo!



Chabo!参加著者一覧(2008年6月現在)

参加資格

- 過去に単著で10万部以上売り上げた本または学術上の顕著な実績がある
- 社会貢献に関心が強く、Chabo!の活動にも積極的に参加する

現在の参加者

- 勝間和代 (発案者)
- 和田裕美
- 小宮一慶
- 竹川美奈子
- 酒井穰
- 山ロー男
- 久恒啓一

(ほか、高野登、岡田斗司夫などが今後参加)

アフガニスタンの青空学校



アフガニスタンの破壊された学校



アフガニスタンで再建された学校

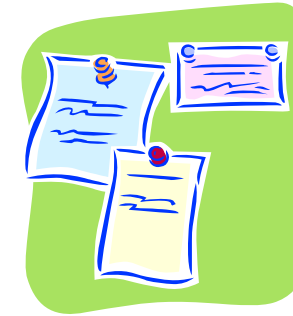




三毒追放の勧め

- 仏教の「三毒」追放を実践する
 - 妬まない、怒らない、愚痴らない
- ツキのコツは、「与えて・与えて・与えまくる」こと
 - Give and Takeの発想では、まだまだ効果が低い
 - 一番効果があるのは、Give&Give&Give&Give&Give
 - それくらいGiveしておくで、頼まなくても、周りの人が勝手に助けてくれるようになる
- Giveの基本は「裁定取引」。自分がいちばん得意で負担がかからないものを相手にあげる
 - 勝間の場合には、ひたすら情報分析と翻訳
 - 翻訳は、異なる言語だけではなく、異なるコミュニティの間の翻訳を含む

まとめ



- ワークライフバランス問題は環境問題に近い。価値観を転換し、一人一人ができることを地道にやっていく
- その上で、「少子化対策が大事」「ワークライフバランスが競争力を回復する」という空気を作って、企業・政府の資源の優先配分先を変えていく
- ただし、あまりギスギスせずに、ゆったりと「三毒」をとりながら、のんびり構えるのがコツ